



令和4年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業

伝承を担うフィールドから まなび、ともにつくり、地域へつなぐ アートマネジメント人材育成

― 伝統音楽・芸能の地域レガシーによる新たな価値創出を目指して ―



2022年度「フィールドからまなぶ」

基礎講座プログラム

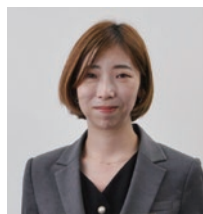
これまでの学術フィールドワークの方法論について基礎的な事項を踏まえ、企画立案のためにはどのような新たな視点・学びのための方法が求められるか、国内外の事例を交えながら学んでいきます。

オンデマンド配信

配信期間

2022年9月～2023年2月末

目黒流貫井囃子におけるフィールドワークの経験を通して



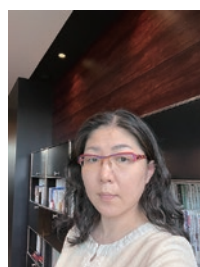
講師：田邊裕子
山梨学院短期大学 講師

フィールドできづく、きずくートルコ・アレヴィーの儀礼における身体技法セマーの調査から



講師：米山知子
日本学術振興会特別研究員 RPD ／ 関西学院大学

フィールドから学ぶ:ブータン民俗音楽研究をふりかえって



講師：黒田清子
金城学院大学・名古屋芸術大学 非常勤講師

地域の過疎化状況下での民俗芸能の持続継承事例



講師：星野紘
東京文化財研究所名誉研究員

楽器改良の歴史と現状ークルガス共和国のコムズを中心にー



講師：ウメトバエワ・カリマン
東京音楽大学 非常勤講師

記録と発信：日本の民謡と民俗芸能を例に



講師：島添貴美子

富山大学学術研究部芸術文化学系 教授

アートマネジメント アイヌの音楽(に関する企画を考える)



講師：千葉伸彦

東京音楽大学 非常勤講師

地域と学校をつなぐ京都の六斎念仏『四つ太鼓』をきっかけに



講師：藤田加代

京都こども六斎教室連絡会顧問

アーティスト・イン・レジデンスと民俗芸能



講師：坂田雄平

NPO 法人いわてアートサポートセンタープロデューサー

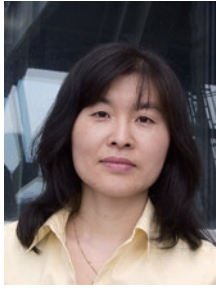
ガムランの可能性～障がい福祉現場からの新たな創造と表現～



講師：渡邊融

社会福祉法人明日へ向かって 音楽活動ディレクター

地域で育まれた伝統の音文化 その継承危機に接して～創造は必要か?～



講師：原田敬子

作曲家、東京音楽大学作曲科准教授

「伝統の身体・創造の呼吸」代表

鼎談：もうひとつの「日本音楽」ー移民社会の音楽文化から



登壇者：遠藤美奈

沖縄県立芸術大学 准教授

淵上ラファエル広志

東京音楽大学附属民族音楽研究所特任研究員

モデレーター：金城厚

東京音楽大学大学院教授

東京音楽大学附属民族音楽研究所教授

座談会：在日コリアンと音楽・芸能ー京都市の民族まつりと教育をめぐってー



登壇者：磯田三津子

埼玉大学教育学部

陳太一

民族民衆文化碑ハンマダン代表、東九条マダン前実行委員長

金慶子

京都市教育委員会 学校指導課

モデレーター：小日向英俊

東京音楽大学大学客員教授

受講対象

文化行政・文化施設職員
伝統音楽・伝統芸能団体関係者
学校教育関係者
アートマネジメントに従事している者、またはそれを志す者

定員

なし

参加費

無料

申し込み方法

公式ウェブサイトの申し込みフォーム、または以下の QR コードからお申し込みください



申し込み期限

動画視聴後、講師へ質問（メール）をしたい方

2022 年 10 月 31 日（月）まで

（10 月頃より講師からの回答をメールにてお送りいたします。）

動画視聴のみの方

2023 年 1 月 31 日（火）まで

2022 年秋を予定！

「実践セミナー：フィールドへの「留学」と成果の発信」のお知らせ

基礎講座で学んだ方法論や事例を生かして、伝承の現場へ出向き、学ぶ実践をします。

「留学」とは、特に伝統音楽・芸能分野におけるフィールドワークは伝承の現場の「調査」ではなく、

担い手たちから伝統音楽・芸能を「学ぶ」要素が強く、受講者にもそうした理念を基本として実践をしてほしいと考えています。

ワークショップをメインとし、本学またはオンラインでの講座を計画しています。

お問い合わせ

東京音楽大学文化庁補助事業推進室
Email bunka.am@tokyo-ondai.ac.jp

171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5
東京音楽大学文化庁補助事業推進室
電話 03-3982-3196

事業活動ご案内

2019～2021 年度、そして今年度 2022 年度の活動は
こちらからご覧いただけます。

「東京音楽大学文化庁補助事業 アートマネジメント人材育成」

ハンドブック

『日本とアジアの伝統音楽・芸能のためのアートマネジメントハンドブック』

